

■ 宮本勝浩 関西大学名誉教授が推定 ■  
「第100回全国高等学校野球選手権記念大会」  
経済効果は 約433億3,256万円

このたび関西大学 宮本勝浩名誉教授が、日本のみならず世界に誇る高等学校のスポーツ大会である「夏の全国高等学校野球選手権大会」の第100回記念大会の経済効果を計算した結果、約433億3,256万円となりました。

宮本名誉教授は、「今年の第100回大会は過去最高の経済効果であると言っても過言ではない。その要因として、①出場校が7校増え、試合数が7試合増加し、大会日数が2日増えたこと ②これまで無料であった外野席が有料になり、内野席やアルプス席も値上げされたこと ③第100回の記念大会であること などが考えられる」と分析しています。

また、「プロ野球と比べると、入場料が非常に安価な料金設定にもかかわらず、たった16日間で約433億3,256万円という大きな経済波及効果をもたらすことは驚くべきことである」と述べています。

分析結果について、別紙資料にて紹介いたします。

【資料概要】

- |   |     |   |
|---|-----|---|
| 1 | テーマ | 「第100回全国高等学校野球選手権記念大会の経済効果」                                 |
| 2 | 発表者 | 関西大学名誉教授 宮本 勝浩  |
| 3 | 発表日 | 2018年8月1日（水）  |
| 4 | 内容  | [1] はじめに<br>[2] 経済効果とは<br>[3] 直接効果の項目<br>[4] 経済効果<br>[5] 結論 |

以上

※推計方法および分析結果の無断転載・無断転用を防ぐため、ウェブサイトには詳細を掲載しておりません。ご入用の報道機関の皆様は、関西大学広報課 (kouhou@ml.kandai.jp) まで資料請求くださいますようお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、浦田  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266  
www.kansai-u.ac.jp

## ■ プロフィール

|        |   |
|--------|---|
| 氏名     | 宮本 勝浩 (みやもと・かつひろ)   |
| 生年月日   | 1945 (昭和 20) 年 1 月 12 日 (73 歳)  |
| 本籍     | 和歌山県  |
| 学歴     | 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了 経済学博士 (神戸大学)   |
| 職歴     | 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、平成 18 年 4 月より関西大学大学院会計研究科教授。平成 27 年 3 月に定年退職し、現在は <u>関西大学名誉教授</u> 。<br>この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任              |
| 専門分野   | 国際経済学 (移行経済論)、理論経済学、関西経済論、スポーツ経済学   |
| 著書     | 「大阪経済学」(共著) 経営書院、「移行経済の理論」中央経済社、<br>「経済効果ってなんだろう？」中央経済社 など  |
| 公職     | (元) 財務省財政制度等審議会臨時委員<br>(元) 総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員<br>(元) 大阪広域水道企業団経営・事業評価委員会委員長<br>公益財団法人大阪府市町村振興協会理事<br>公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長<br>公益財団法人堺都市政策研究所顧問 など                                   |
| 業績     |   |
| 2005 年 | 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」などを発表   |
| 2006 年 | 「2008 年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表   |
| 2007 年 | 「世界陸上・大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」などを発表  |
| 2008 年 | 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」、<br>「くだおれ人形の経済波及効果」、「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」などを発表   |
| 2009 年 | 「WBC の経済波及効果」、「タバコ値上げの経済効果」、<br>「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」などを発表   |
| 2010 年 | 「カナダ・バンクーバー五輪 日本における経済波及効果」、「奈良の大仏の建造費用」、<br>「大阪マラソンの経済波及効果」、「U S J 10 周年の経済波及効果」などを発表  |
| 2011 年 | 「上野動物園のパンダ リーリーとシンシンの経済波及効果」、「東京ディズニーシー開園 10 周年の経済波及効果」、「大阪マラソンの経済波及効果の検証」などを発表   |
| 2012 年 | 「天橋立世界文化遺産登録の経済波及効果」、「U S J 今後 10 年間の経済波及効果予測」、<br>「第 24 回なにわ淀川花火大会の経済波及効果」などを発表  |
| 2013 年 | 「あべのハルカス グランドオープンの経済波及効果」、「『街コン』の経済波及効果」、<br>「東北楽天ゴールデンイーグルス優勝の経済波及効果」などを発表   |
| 2014 年 | 「田中将大投手のヤンキース入団の経済波及効果」、「大阪道頓堀のグリコの新電光看板の経済波及効果」、「2014 年子どもが楽しんだものの経済波及効果」などを発表   |
| 2015 年 | 「関西国際空港の LCC 就航による経済波及効果」、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の経済波及効果」、「又吉直樹氏の『火花』の経済効果」などを発表   |
| 2016 年 | 「ネコノミクスの経済効果」、「四国八十八ヶ所お遍路さんの経済効果」、「平成 28 年夏の甲子園全国高校野球の経済効果」、「SMAP 解散で失われる経済効果」、「2016 年広島東洋カープ優勝の経済効果」を公表  |
| 2017 年 | 「2017 年 WBC 優勝の経済効果」、「第 89 回春の選抜高等学校野球大会の経済効果」、「稀勢の里の横綱昇進による経済効果」、「第 99 回夏の甲子園大会の経済効果」、「上野動物園パンダの赤ちゃん誕生の経済効果」、「2017 年広島カープ優勝の経済効果」「清宮幸太郎選手が日本ハムに入団した時の経済効果」「大谷翔平選手のエンゼルス入団の経済効果」を公表 |
| 2018 年 | 「せんとくんの経済効果」、「DMM かりゆし水族館の経済効果」「日本のお花見の経済効果」「第 10 回 AKB 総選挙 in 名古屋の経済効果」「イニエスタ選手のヴィッセル神戸入団の経済効果」を公表   |